

Ⅱ 生産現場での利用拡大に向けた取組を推進

☑ 「国内肥料資源の利用拡大プロジェクト」を開始します！

① 国内資源由来肥料の利用に関する知見の集約

取組概要

生産現場における多様な主体による国内資源由来肥料の利用事例を広く募集

- ・試験研究機関等における栽培実証データ
- ・既存の各資源の利活用マニュアル等
- ・令和4年度補正予算（国内肥料資源利用拡大対策）を活用して実証を行うデータ
- ・普及指導員、JA、農業者等が行う実証データ



収集した情報をデータベース化し、生産者へ提供

◀収集・提供する項目▶

地域/作物/肥料の種類と施肥量/他の使用肥料と施肥量/土壌の特徴/施肥上の留意事項/慣行栽培との比較/導入メリット/関連情報/担当者/



実際の取組事例等を基に、導入に当たっての留意事項等を取りまとめ。

生産現場における栽培実証データ

全国各地における国内資源由来肥料の利用事例（収量等に注目）を集約

地域	作物	肥料の種類	国内資源の種類	土壌の特徴	...	肥料成分	収量	引用
福岡県	麦	混合堆肥複合肥料	牛ふん堆肥 鶏ふん堆肥	細粒質普通低地水田土	...	4.0-3.2-3.1	31%~43%増	農研機構・九州沖縄農業研究センター研究推進部技術適用研究チーム
岡山県	キャベツ	混合堆肥複合肥料	牛ふん主体畜種混合堆肥	典型台地褐色森林土など	...	10-3-7	同等以上	農研機構・九州沖縄農業研究センター研究推進部技術適用研究チーム
兵庫県神戸市	キャベツ	特殊肥料化成肥料	牛ふん堆肥 こうべ再生リン	-	...	10-6-6	特に差異なし	神戸市経済観光局農政計画課
広島県広島市	水稻	特殊肥料	堆肥・発酵鶏ふん	-	...	2.5-4.2-3.9	特に差異なし	全農ひろしま改革推進部改革推進課
...

※ 現在、栽培実証データを随時募集・集約中

II 生産現場での利用拡大に向けた取組を推進

②国内資源由来肥料に関する取組内容等の発信

■ 各会員の多様な取組を広くPRするため、会員が製造する国内資源由来肥料や会員による国内資源由来肥料の取組情報を、農林水産省の全国推進協議会のサイトにおいて掲載しています。



- 中日本カプセル株式会社では、健康食品を受託製造しております。健康食品に使われるソフトカプセル製造時には、カプセルを打ち抜いた後のカス（ゼラチン皮膜残渣）が不可逆的に発生しますが、この皮膜残渣を産業廃棄物として処分するのではなく、アミノ酸肥料として展開できることを提案しています。【ゼラチン×リサイクル=ゼライクルR】
- ゼラチン皮膜残渣については、(ア)そのままの形状のみでなく、(イ)分解した液状、(ウ)乾燥・粉碎したチップ状と、3種類をラインアップすることにより、より利用しやすい形での提供を可能としております。(そのまま・液状：全窒素7%、チップ状：全窒素10%含有。肥料登録済(副産肥料)。)
- この取組については、2023年3月にみどりの食料システム法に基づく、基盤確立事業の認定を受けており、現在、化成肥料の代替効果を肥料メーカーや地元の高校、行政機関と連携し、より一層推進しております。

- [中日本カプセル株式会社](#) 【外部リンク】
- [みどりの食料システム法に基づく基盤確立事業実施計画の認定について](#)



- 緑水工業株式会社では、厳格な品質管理のもとに、下水汚泥等を有効利用した高温発酵肥料を製造しております。
- 下水汚泥資源等を活用した肥料の販売拡大に向け、必要な設備を新たに導入し、既存の肥料散布機で散布可能なペレット状肥料の製造を行うこととしております。
- また、長岡バイオコミュニティ(注)の形成に向けた取組の一環として、地域内の農業者、行政等と連携し、肥効の実証試験を進めています。
- (注)「バイオ戦略」に基づき、地域に応じた特色のあるバイオ分野の取組を内閣府が認定。緑水工業株式会社は、令和3年6月に認定された長岡バイオコミュニティの取組に参画。
- これらについて、2023年4月にみどりの食料システム法に基づき、基盤確立事業の認定を受け、現在、取組を進めています。

- [緑水工業株式会社](#) 【外部リンク】
- [みどりの食料システム法に基づく基盤確立事業実施計画の認定について](#)



- 横浜市では、下水汚泥から安全な肥料原料としてのリンを回収する施設の導入を進めており、令和5年7月に、回収したリンを配合した肥料の開発・製造や市内を中心とした流通等の利用促進に向けた連携協定を横浜市・JA横浜・JA全農かながわの三者で締結しました。
- 今後、それぞれが持つ資源や強みを生かしながら、肥料の国産化・安定供給に貢献することで、食料安全保障の強化や循環型社会の形成等につなげます。
- また、GREEN×EXPO 2027において再生リンの活用を積極的に図り、農業等への普及を推進していきます。

- [横浜市プレスリリース](#) 【外部リンク】



- 下水汚泥を原料とする肥料「かんとりスーパー南砺」、「かんとりスーパー大村」の製造・販売を行っています。
- 1959年に、と畜場（現：食肉センター）排水などの高濃度汚水の水処理事業者として創業しました。2002年から水処理後に排出される汚泥や生ごみ等のバイオマス肥料化する環境リサイクル事業をスタートさせ、今日まで肥料製造に取り組んでいきます。現在、全国11か所以上で下水汚泥肥料の製造を行っています。

- [共和化工株式会社](#) 【外部リンク】
- [みどりの食料システム法に基づく基盤確立事業実施計画の認定について](#)

【注意】

掲載している肥料等については、農林水産省が利用を推奨しているものではありません。掲載している肥料等に関する詳しい情報につきましては、各社にお問い合わせください。

Ⅱ 生産現場での利用拡大に向けた取組を推進



イ【全国推進協議会会員名】は、国内肥料資源の利用拡大を応援します/しています
 ロ【全国推進協議会会員名】は、国内肥料資源の利用拡大に賛同しています
 のいずれかの表現を一体として記載する。

③ 国内肥料資源推進ロゴマークの作成

- 国内肥料資源の利用拡大に関する取組をさらに促進するため、全国推進協議会の会員企業が利用できるロゴマークを新たに作成。
- ロゴマークは会員企業が掲載する関連ウェブサイトや広報活動資料、生産・販売する国内資源由来肥料に貼付して利用することが可能。

広報活動への利用
(パンフレットやHP等への掲載)

HP、webサイト

パンフレット

肥料包装（肥料袋）への貼付

肥料に貼付する場合：対象とする肥料①～⑫

① 特殊肥料	⑥ 混合堆肥複合肥料
② 汚泥肥料	⑦ 混合汚泥複合肥料
③ 食品残さ加工肥料	⑧ 指定複合肥料
④ 有機質肥料	⑨ 指定化成肥料
⑤ 回収リン	⑩ 特殊肥料等入り指定複合肥料
	⑪ 土壌改良資材入り指定複合肥料
	⑫ 菌体りん酸肥料

+ 化学肥料 →

国内資源由来肥料

【ロゴマークの利用に当たって】

- ① 国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会の会員（無料）であること
- ② 国内肥料資源推進ロゴマークの利用申請を行い、許諾を得ること
- ③ 肥料包装へロゴを貼付したり、肥料のチラシにロゴを掲載する場合には、対象となる肥料で、必ず国内資源が含まれる肥料であること



全国推進協議会への
入会案内HP



ロゴマーク利用の
申請案内HP

Ⅲ 先進事例の横展開・関連情報の提供

☑ 関係事業者のリアルタイムな情報を発信します！

① 全国推進協議会HPにおける情報発信



先進事例の横展開・関連情報の提供

本ページでは、国内肥料資源の利用拡大に関する会員の皆様からの情報を随時受け付け、多様な関係者による取組に関する情報や知見をタイムリーに発信します。

関連情報の提供

会員の皆様から提供いただいた情報等を提供します。会員の皆様からの情報は、こちらから受け付けています。なお、ここで掲載する情報については、必ずしも農林水産省が後援や推奨等を行っているものではありません。国内肥料資源の利用拡大に関連する情報や会員の皆様の取組を広く情報発信することを目的に掲載していますので、各取組の詳細につきましては、各問い合わせ先にお問い合わせください。

掲載日	分類	概要	問い合わせ先	担当者	連絡先	備考
R5.9.11	行政情報	農林水産省は、みどりの食料システム法に基づき、4事業者から申請された基盤確立事業実施計画の認定を行いましたのでお知らせします。	農林水産省	大田官房みどりの食料システム戦略グループ	03-6738-6477	みどりの食料システム法に基づく基盤確立事業実施計画の認定について：農林水産省 (maff.go.jp) (参考) みどりの食料システム法について：農林水産省 (maff.go.jp)
R5.9.8	会員の取組	一般社団法人日本有機資源協会では、バイオ液肥(メタン発酵消化液)を積極的に肥料利用するため、バイオ液肥活用シンポジウムを11月28日に開催します。どなたでも無料でご参加いただけます。詳細は、備考欄にあるリンク先でご確認ください。	一般社団法人日本有機資源協会	土肥・十川	03-3297-5618	農林水産省バイオ液肥(メタン発酵消化液)活用シンポジウムの開催！(国内肥料資源流通促進支援事業) 一般社団法人日本有機資源協会 (jora.jp) 【外部リンク】

■ 国内肥料資源の利用拡大に関する会員の皆様からの情報を随時受け付け、多様な関係者による情報や知見をタイムリーに発信しています。

(例) 一般社団法人日本有機資源協会が11月28日に開催する「バイオ液肥活用シンポジウム」を、事前に情報提供いただき、全国推進協議会HPに掲載したものを

JORA 関連行事

受付終了：農林水産省 バイオ液肥(メタン発酵消化液)活用シンポジウムの開催！(国内肥料資源流通促進支援事業)

2023年11月15日

農林水産省「国内肥料資源流通促進支援事業」の一環として、バイオ液肥(メタン発酵消化液)活用シンポジウムを開催します。ご参加の目 時：2023年11月28日(水) 開催場所：目黒 Zoo 参加費：無料 申込方法：オンライン形式を受付します (11/26) jora.jpのアドレスを受付します

※Zoom参加者ごしお申し込みは、上記の申し込みフォームが使用できない場合は、下記の事務局までご連絡ください。
※メールアドレスの入力間違いが多くなっております。申込フォームで正しくメールアドレスを入力されておりましたら、お申込内容が反映されない場合がございます。

リンク先



※イベントの開催

Ⅲ 先進事例の横展開・関連情報の提供

② 国内資源由来肥料の活用事例の紹介

- 全国各地の多様な主体による国内資源由来肥料の活用事例を、3つの国内肥料資源（1. 家畜ふん、2. 下水汚泥資源、3. その他（食品残渣等））別に収集し、現在、99事例を公表しています。

農林水産省

English | トップページ | サイトマップ | 文字サイズ | 標準 | 大きく

逆引き事典から探す | 組織別から探す | キーワードから探す | Google 検索

会見・報道・広報 | 政策情報 | 統計情報 | 申請・お問い合わせ | 農林水産省について

ホーム > 農産 > 農業生産資材対策情報 > 肥料関係情報 > 国内資源の肥料利用について > 国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会について > 先進事例の横展開・関連情報の提供

先進事例の横展開・関連情報の提供

本ページでは、国内肥料資源の利用拡大に関する会員の皆様からの情報を随時受け付け、多様な関係者による取組に関する情報や知見をタイムリーに発信します。

国内資源由来肥料の活用事例集

全国各地の多様な主体による国内資源由来肥料の活用事例を、3つの国内肥料資源（1.家畜ふん、2.下水汚泥資源、3.その他(食品残渣等)）別に収集し、公表しております。

- 1.家畜ふん(49事例) [New!](#)
- 2.下水汚泥資源(27事例) [New!](#)
- 3.その他(食品残渣等)(23事例) [New!](#)

リンク先

各事例の取組を1枚に取りまとめて紹介

リンク先

長野県 2023年7月時点

1-1 全国のJA初！特殊肥料等入り指定混合肥料 (JA佐久浅間・全農長野・朝日アグリ株式会社)

JA佐久浅間は、2002年以降、管内乳用牛の排せつ物を堆肥化し販売。2022年4月から(は)の牛ふん堆肥である「もちづき有機」を30%含むペレット型の指定混合肥料「望ちゃん」、2023年3月からは牛ふん堆肥をペレット化した「もちづき有機ペレット」を販売。

国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称 ■ 取組の経緯・内容・成果(見込み)

JA佐久浅間製堆肥 (牛ふん、鶏ふん、植物性残渣、稲わら、モミガラ) ・米ぬか

・特殊肥料等入り指定混合肥料「望ちゃん」
・堆肥「もちづき有機ペレット」

作物 ■ 主成分の含有量(%)、特徴等

	N	P	K	C/m	水分
100%	2.46	3.59	5.12	17.3	10~20
	N	P	K	Mg	Mn
望ちゃん	12.0	3.4	6.0	1.3	0.4

取組主体と肥料利用までの流れ

供給者(農家) → 堆肥センター → 朝日アグリ株式会社(埼玉県児玉郡) → 製造委託 → JA佐久浅間 → 肥料利用者(農家)

取組の経緯
・農家の利便性向上のため、2002年から販売していた(は)堆肥のペレット化を朝日アグリに相談し、検討の中で、化成肥料と堆肥を1回で散布可能な指定混合肥料を製造することとし、堆肥30%入りの「望ちゃん」を2022年4月に開発し、JA佐久浅間及び全農長野で販売を開始した。
・同年に「みどりの食料システム法」の基盤確立事業実施計画の認定を受け、JA佐久浅間と全農長野と佐久市が事業実施主体となり、持続可能な循環型農業を広める狙いで、地元資源を活用した「もちづき有機ペレット」を2023年3月に製造販売を開始した。

取組の内容
・2023年春肥用注文書に「望ちゃん」を記載し本格的に販売を開始した。
また、ペレットマシンと乾燥機を新たに設置することで堆肥のペレット化を達成。

成果(見込み)
・キャベツを用いた「望ちゃん」の栽培実証時、現行使用している化学肥料(10-13-12)(14-14-14)と比較した結果、成分比で同量の肥料散布で収穫時期や収穫量など遜色なく生育し、施肥コストは10a当たり最大で約4,750円削減。

今後の課題・取組

増産に向けて
①導入・散布面積の増加(専用の散布機を必要とせず施用)。
②低コスト化及び臭気の緩和。
③適当な乾燥温度の設定。

- 国内資源由来肥料の活用事例集 (1.家畜ふん)**
- 1-1:全国のJA初！特殊肥料等入り指定混合肥料 (JA佐久浅間・全農長野・朝日アグリ株式会社) (PDF: 637KB) [📄](#)
 - 1-2:鶏ふんを原料にした発酵鶏ふん肥料 (JA全農ひろしま) (PDF: 597KB) [📄](#)
 - 1-3:家畜ふん堆肥を原料にした堆肥入り粒状複合肥料 (BB肥料) (JA宮崎経済連) (PDF: 558KB) [📄](#)
 - 1-4:混合ペレット肥料の製造、広域流通の実証 (JA鹿児島経済連) (PDF: 600KB) [📄](#)
 - 1-5:生産現地の土壌実態に即した混合堆肥複合肥料 (岡山県農林水産総合センター、三興株式会社) (PDF: 577KB) [📄](#)
 - 1-6:熊本県堆肥共励会大賞を2年連続受賞した堆肥入り複合肥料 (JA菊池、JA熊本経済連、片倉コープアグリ株式会社) (PDF: 552KB) [📄](#)

国内肥料資源別に掲載

国内資源由来肥料の活用事例の紹介 (HP掲載事例一覧)

番号	タイトル	番号	タイトル	番号	タイトル
1-1	全国JAI初！特殊肥料等入り指定混合肥料(JA佐久浅間・全農長野・朝日アグリ株式会社)	1-35	基幹作物の生産を支える家畜ふんを原料とした完熟堆肥(肝付町高山堆肥センター)	2-20	下水汚泥とそば殻を混ぜ合わせた堆肥を活用した栽培実証(幌加内町)
1-2	鶏ふんを原料にした発酵鶏ふん肥料(JA全農ひろしま)	1-36	牛ふんを原料とした特殊肥料による資源の島内循環(伊江村堆肥センター)	2-21	下水汚泥等を活用した汚泥肥料(福井エコグリーン株式会社)
1-3	家畜ふん堆肥を原料にした堆肥入り粒状複合肥料(BB肥料)(JA宮崎経済連)	1-37	鶏ふんを原料とした発酵堆肥の製造・販売(農事組合法人沖縄美鶏団地組合)	2-22	下水汚泥を好気性菌により発酵させた有機質肥料の製造(鹿児島市水道局)
1-4	混合ペレット肥料の製造、広域流通の実証(JA鹿児島経済連)	1-38	牛ふんを原料としたペレット堆肥(株式会社敷島ファーム)	2-24	下水汚泥資源と食品残渣を原料にした汚泥発酵肥料の製造(双葉三共株式会社)
1-5	生産現場の土壌実態に即した混合堆肥複合肥料(岡山県農林水産総合センター、三興株式会社)	1-39	地域資源由来の鶏ふん堆肥の利用拡大(はな宮農組合)	2-25	下水汚泥からの再生リン(MAP)を原料とした複合肥料(横浜市・月島JFEアクアソリューション㈱、JA横浜、JA全農かながわ)
1-6	熊本県堆肥共励会大賞を2年連続受賞した堆肥入り複合肥料(JA菊池、JA熊本経済連、片倉コープアグリ株式会社)	1-40	水稲、野菜、果樹等様々な作物に応じた肥料を製造(全国農業協同組合連合会 鳥取県本部)	2-26	新たなリン回収システムによる下水道の資源化(太平洋セメント(株)、メタウォーター(株)、東京都下水道局共同研究体)
1-7	県内広域での牛ふん堆肥委託配布(有限会社J1・タケダファーム)	1-41	関東地域の豚ふん配合の混合堆肥複合肥料「エコマスターシリーズ」の製造販売(片倉コープアグリ株式会社)	2-27	下水道・農集排(下水汚泥)を原料とした炭化オキ肥料(株式会社日本環境管理センター)
1-8	町有の堆肥製造施設を活用したJAIによる堆肥供給(津別町、JAつべつ)	1-42	栃木県の堆肥を活用した混合堆肥複合肥料「まどかちゃん」(JA全農・株式会社JAグリーンとちぎ)	2-28	有機性廃棄物を原材料とした高速発酵による高機能堆肥等の製造(ジャパンサイクル株式会社)
1-9	牛ふんと鶏ふんを主原料とした堆肥をペレット化(JA十勝清水町)	1-43	鶏ふんの臭いを軽減した有機肥料(四国ケージ株式会社)	2-29	有機廃棄物の資源循環処理施設「ハザカプラント」による地域資源の再生(株式会社県南衛生工業)
1-10	豚ふん堆肥と飼料用米による耕畜連携(新おたる農協、有限会社ビクトリーパーク)	1-44	家畜ふん堆肥を原料にした混合堆肥複合肥料(JA全農いばらき・朝日アグリ(株))	3-1	乳業メーカーの廃棄物を原料にしたペレットたい肥(株式会社バイオマスソリューションズ)
1-11	畜産バイオガスプラントから生成される消化液(北海道鹿追町)	1-45	家畜ふん堆肥を原料にした指定混合肥料(JAグループ群馬・朝日アグリ(株))	3-2	食品廃棄物を原料にしたバイオ液肥・バイオ固形肥料(株式会社東北バイオフードリサイクル)
1-12	豚糞を原料とした発酵豚糞堆肥(株式会社フリーデン)	1-46	家畜ふん堆肥を原料にした指定混合肥料(JA静岡経済連・朝日アグリ(株))	3-3	食品廃棄物を原料にしたバイオ液肥・バイオ固形肥料(株式会社バイオフードリサイクル)
1-13	家畜ふんや食品残渣を原料とした有機肥料(株式会社アーク、株式会社若葉(一関市藤沢有機肥料センター))	1-47	福島県内で排出される鶏ふん堆肥を原料にした新肥料の開発(片倉コープアグリ株式会社)	3-4	おから等地域資源を活用した植物性堆肥(平成有機農法研究会)
1-14	牛ふんを原料とした牛ふんもみ殻完熟堆肥(有限会社スカイファームおざき)	1-48	家畜ふん尿等を原料としたバイオガスプラント液肥の有効活用(興都北バイオガスプラント)	3-5	生ごみ、し尿、浄化槽汚泥を原料にしたバイオ液肥(真庭広域廃棄物リサイクル事業協同組合)
1-15	豚の排せつ物を原料とした豚ふん堆肥(株式会社平田牧場)	1-49	牛ふん堆肥と動物性食品残渣や海藻等を混合した完全発酵堆肥(JA新みやぎ あさひなオーガニックプラント)	3-6	廃菌床を原料にした堆肥を活用したれんこん産地(JA徳島市)
1-16	あらゆる地域資源を活用し、良質堆肥を生産(有機物リサイクルセンター美土里館)	2-1	下水汚泥を原料とした脱水肥料と乾燥肥料(岩見沢市)	3-7	産業廃棄物を活用したぼかし堆肥(株式会社ミスズアグリ)
1-17	ペレット堆肥を生産し、地域内のみならず、広域へ流通を拡大(有限会社プライトピック千葉)	2-2	下水道汚泥等を原料とした汚泥発酵肥料(岩手コンポスト株式会社)	3-8	食品廃棄物等地域資源を活用した特殊肥料(竹縁農産)
1-18	畜産堆肥の利用による持続的な茶生産に向けての実証的取組(富士山麓堆肥利用促進協議会)	2-3	下水道資源を活用した取組(山形県鶴岡市)	3-9	食品廃棄物を堆肥化し再生利用(株式会社大栄工業、株式会社いがぐり)
1-19	牛ふん堆肥を使用した特別栽培米のブランド化と、堆肥センターを核とした耕畜連携(株式会社有機センター白山)	2-4	下水汚泥を活用した汚泥肥料(緑水工業株式会社)	3-10	茶殻と石灰灰を利用した堆肥(西日本砕石株式会社)
1-20	地域資源の牛ふん、もみ殻などを原料とした環境にやさしい牛ふん堆肥を製造・販売(株式会社河北潟ゆきの里)	2-5	下水汚泥等を活用した汚泥肥料(石川県中能登町)	3-11	食品残渣と工業汚泥を原料とした汚泥肥料をペレット化(株式会社日本有機四国)
1-21	耕種農家の需要に応じた鶏ふん堆肥の供給と、オーダーメイド配合肥料製造へのチャレンジ(株式会社川北商店)	2-6	下水汚泥からの回収リン酸と鶏糞燃焼灰を活用した肥料(全農岐阜県本部)	3-12	食品残渣や竹チップを原料にした堆肥(株式会社丸山喜之助商店)
1-22	売れる鶏ふん堆肥を目指した取組(有限会社鈴鹿ポーター)	2-7	食品工場から排出される汚泥・残渣や下水汚泥を活用した堆肥の製造(株式会社大地)	3-13	食品廃棄物や豚ふん等を原料にした特殊肥料(街クリーン株式会社)
1-23	自家肥育牧場の牛ふんを原料とした発酵堆肥をペレット化(有限会社澤井牧場)	2-8	下水汚泥と牛ふん混合堆肥をペレット化(株式会社アサギリ)	3-14	食品残渣を原料とした堆肥を自社及び協力農場で製造し、資源循環に取り組み(株式会社アフレ)
1-24	但馬の農産物ブランドを土づくりから支える完熟発酵堆肥(朝来市土づくりセンター)	2-9	市の下水汚泥を活用し汚泥発酵肥料を製造(株式会社NA)	3-15	焼酎かす等を利用した堆肥づくり(株式会社安心院オーガニックファーム)
1-25	自社農場の鶏ふんを原料とした粒状・粉末の発酵堆肥(有限会社グリーンファームソーゴ)	2-10	下水汚泥からの再生リンを原料にした混合堆肥肥料(JA全農ふくれん)	3-16	野草堆肥・野草牛ふん堆肥による地域内資源循環・農耕維持の取組(農事組合法人草原再生オペレーター組合(事務局NPO法人九州バイオマスフォーラム))
1-26	牛ふん堆肥の地域の耕種農家への供給と堆肥配布を実施(有限会社岸田牧場)	2-11	下水汚泥を活用した汚泥発酵肥料(株式会社沖縄有機)	3-17	食品廃棄物等を原料とした堆肥を製造し、飼料作物を生産(株式会社エイゼン)
1-27	肉用牛農家から受け入れた牛ふんを原料とした牛ふん堆肥(農事組合法人益田市堆肥センター)	2-12	下水道資源を活用した取組(上野台堆肥生産協同組合)	3-18	食品循環資源のリサイクル・ループ(有限会社三功)
1-28	牛、豚、鶏の畜種ふんをバランス良く配合した混合堆肥(有限会社皆多町堆肥センター)	2-13	下水汚泥等を活用した汚泥発酵肥料(株式会社河北潟ゆきの里)	3-19	ソフトカプセルの製造工程で発生するセラチン残渣を活用した肥料の製造(中日本カプセル株式会社)
1-29	自社資源を有効活用した作物生産や化学肥料低減の取組を通じ、良好な地域循環を目指す環境保全型農業(株式会社秋田牧園)	2-14	下水汚泥や食品廃棄物等を原料にYM菌を活用した汚泥肥料(近畿環境サービス株式会社 環境ワクチンセンター名張)	3-20	産業廃棄物を再生可能なエネルギー資源として活用する取組(株式会社ジェイネックス)
1-30	耕種農家による良質堆肥の製造と地域内利用も推進(株式会社百笑屋)	2-15	農業集落排水施設等の汚泥を原料にした汚泥発酵肥料(島根県出雲市)	3-21	捨てられる食器を活用した肥料「ポナース」(ニコロー株式会社)
1-31	鶏ふん堆肥により生産した飼料用米による耕畜連携の取組(株式会社ココオ)	2-16	下水汚泥を活用した汚泥発酵肥料(佐賀県佐賀市)	3-22	調味粕を原料とした発酵調味粕堆肥による醸造用小麦・大豆等の生産(ヒガシマル醤油株式会社、株式会社高田商店)
1-32	福江島特産の五島野菜(ブロッコリー、高菜、スナップエンドウ等)の生産を支える完熟堆肥(五島市たい肥センター)	2-17	下水汚泥からの回収リンを活用した混合肥料(兵庫県神戸市、水ingエンジニアリング(株)、JA兵庫六甲)	3-23	菌体りん酸肥料を原料として活用した肥料の製造(公益社団法人石巻市水産加工排水処理公社、朝日アグリ株式会社)
1-33	水質保全と畜産経営の発展のために整備された施設(熊本市東部堆肥センター)	2-18	生ごみを原料とした堆肥と、排水汚泥・下水汚泥及び食品製造残渣を原料とした汚泥肥料(株式会社HMエスパス)		
1-34	耕種農家が求める高品質鶏ふん堆肥のペレット化(農事組合法人香川ランチ)	2-19	下水汚泥・バイオマス原料とした乾燥肥料(アクア・バイオマスセンター北広島)		

計100事例 (■ : 家畜ふん (49) 、 ■ : 下水汚泥資源 (28) 、 ■ : その他: (23)) 、 ■ : 今後HP掲載予定 (1))

IV 年間取組実績

